
クローバー

ちい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クローバー

【Nコード】

N8116A

【作者名】

ちい

【あらすじ】

346年前、“闇の魔術師”たちによし世界が支配されていた。そんな闇の魔術師たちに、闘いを挑んだ、“光の魔術師”たち。そんな346年前の出来事をめぐって、光の魔術師の子孫、リングが光の魔人とともに、仲間を助ける旅に出る。そこで出会う、いろんな人々。その中にも、光の魔術師の子孫が居た。

オープニング

オープニング

346年前のとある国。

その国には人間だけじゃなく、少数の人間が“魔力”を持っていた。その魔力を持つものは、“魔術師”として、人々から、尊敬の目で見られていた。そんな魔術を利用する、5人の魔術師が現れた。五人の魔術師は手を組み、それぞれ一人ずつが魔力を持つ“魔人”を作った。手の平にちよこんと乗るような、小さな魔人。

合計十人の魔術師と魔人は、世界を我が物にしようと、人間たちにひどい目に合わせた。ただの人間なのに、魔術師に敵うわけがない、誰もがそう思っていた。誰も逆らえなかった。そんな時、誰もが望んでいた人が来た。

魔術師だった。それも、世界を支配している魔術師とは、正反対の天使のような魔術師。同じく、天使のような魔術師も五人だった。そして、五人の魔人が居た。雪のように白い服を身にまとった、小さな魔人。

その魔術師たちは、世界を支配している魔術師たちに、闘いを挑んだ。

力はほぼ同じ。人数も同じ。ただ違ったのは、黒い心と白い心だった。

戦いは数週間続いた。もうだめだ、と諦めている人もいれば、頑張れ、絶対勝てる、とまだ信じ続けていた人もいる。

そして、ついに決着はついた。結末は誰もが、望んでいた結果だ。相手の魔術師は全員、息の根は無いが、魔人は決して死ななかった。一生いき続けるように、魔法をかけられたのだろう。

魔術師たちは相談した結果、魔人たちがもう二度と、復活せぬようにと秘密の場所に封印した。

封印されなかった魔人は、鏡の中に入り、自分たちの子孫に仕えるように、と命じられた。しかし、一人の魔人は封印された魔人が復活せぬようにと、秘密の場所に、一緒に居る事になった。鏡の中に入り、復活したら、目覚めるようにと、魔法をかけられた。

この出来事は、誰も忘れなかった。そして、世界を支配していた魔術師と魔人は、“闇の魔術師”
と“闇の魔人”、人々を救った魔術師たちは、“光の魔術師”“光の魔人”と呼ばれるようになった。

それから、346年後の現代。

346年前の出来事を、知る者は居なくなった。

そして、地面が小刻みに揺れだす、小さな地震が起こった。皆には被害がなかったが、これから大きな出来事が、起こってほしくない出来事が、今、動き出す……。

黒魔人が、目覚めようとする

……。

オープニング（後書き）

はい、作者のちいです。

まだ、未熟な私の小説を読んでもうござって、ありがとうございます御座います。このお話は、これからが本番です。出来れば、これからも、読んでくれたら嬉しいです。あつかましいかも知れませんが、感想もお願いします。

最後にもう一度、読んでくださって、ありがとうございます御座います。これからも、お付き合い宜しく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8116a/>

クローバー

2010年11月28日05時44分発行